

## 事例 19

### 学力向上モデル校の授業改善と その成果を全市に広げる取組事例 ～学力サポートティーチャー・学力向上推進担当を配置した学力向上実践研究～

徳島市教育委員会



「未来を拓く」学力サポート事業【実施期間（時期）】平成27年度～【予算額】854,7万円

#### 1 実施概要

##### ○目的

市内の全ての小・中学校において特色ある教育活動が展開され、子どもたちに十分な学力を身に付けさせることができる。

##### ○現状・課題

平成26年度全国学力・学習状況調査結果から、本市の小・中学生の学力に次のような課題が明らかとなった。

- ・ 基礎・基本の知識を問うA問題において小学校では国語・算数で、中学校では国語で全国平均を下回った。
- ・ 基礎・基本の知識を活用する力「応用力」を問うB問題において小・中学校全教科において、全国平均を下回った。
- ・ 小・中学校の全ての教科、多くの設問において、無解答率が全国平均より高かった。学力だけでなく学習意欲といった面からも不十分である。

##### ○取組

###### (1) モデル校に指導者を配置

指定したモデル校に経験豊富な優れた指導力を有した教員OB等を学力サポートティーチャーとして配置し、学力向上の推進に向けた実践研究を行い教員の指導力向上を図る。また、その成果の普及を通し、市全体の学力向上の推進を図る。

###### (2) 市教委に推進担当を配置

学校教育課に配置した、管理職OB等の専門的な知識・経験のある学力向上推進担当による指導・支援により、学校・教員の指導力向上を図る。

###### (3) モデル校の成果を全学校に普及



市教委主催の研修会のさらなる充実を図り、教員の指導力向上につなげる。

- ・ 徳島市学力向上フォーラム（講演会）
- ・ 徳島市学力向上研修会（モデル校実践報告）

#### ○実施時期

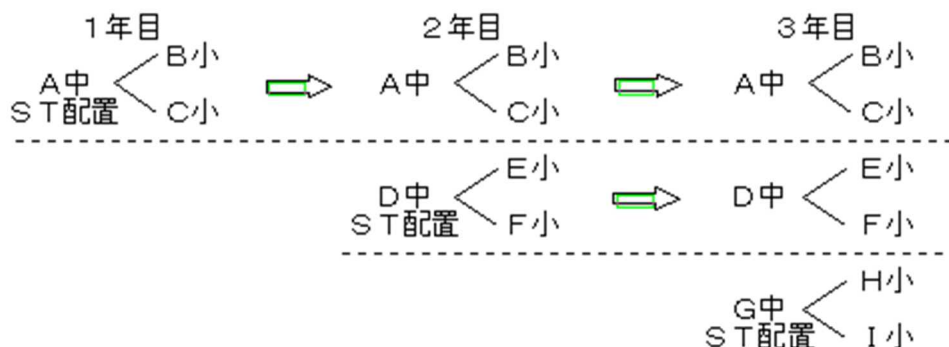
平成27年度～平成29年度（3年間）

## 2 取組のポイント

#### ○モデル校

1 中学校区で中学校1校、小学校2校、計3校を指定  
（1年間に3校、3年間で9校を指定）

指定初年度、モデル校1校ごとにサポートティーチャー（ST）1名を配置  
（各年3名）



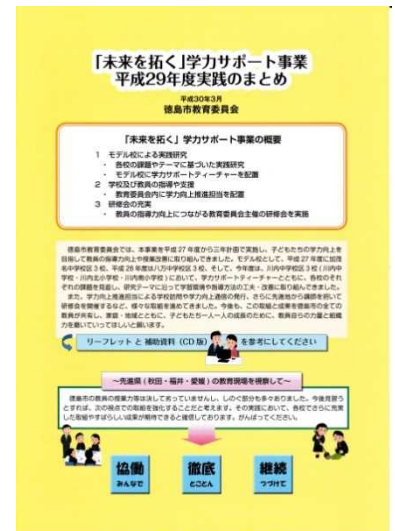
- （1）各モデル校の課題やテーマに基づいた実践研究を実施
  - ・ 国語・算数・数学の授業でよく分かると感じる児童生徒の割合を高める。
  - ・ 授業改善による言語活動の充実
  - ・ 学力向上に向けた小中連携の推進
- （2）サポートティーチャーの役割
  - ・ 学校の教育活動に対する指導・助言
  - ・ 模範授業、研修等を通して、特に若手教員の指導力向上
  - ・ 学習状況の把握・分析とそれに基づく指導の改善・充実
  - ・ 小5・中2の学年に配属、学習活動を充実
  - ・ 学力推進担当との連携（サポートミーティング）

#### ○学力向上推進担当

学校教育課（事務局内）に専門的な知識経験を有する管理職 OB 等を学力向上推進担当として1名配置

- （1）学校訪問を通じた教員の指導力向上を支援
  - ・ 学力向上に向けた校内研修での指導助言

- ・ 教員個々への教材研究、授業づくり等における指導・助言
- (2) 学力調査結果の検証等による、効果的な教育施策の検討実施
- ・ 調査結果より、学力向上策の検討と手立ての発信
  - ・ 調査結果分析を生かして問題作成・発信
- (3) 教員や保護者からの相談業務
- ・ 事務局内において様々な学力向上に関する相談業務
  - ・ 家庭学習に関する保護者啓発資料作成・発信  
(年3回)
- (4) 先進地視察研修を通じて深めた見識を本市の学力向上に生かす
- ・ 先進地視察により本市の施策見直し改善
  - ・ 先進地視察研修内容を研修会等により積極的に還元
- (5) 成果物(リーフレット・補助資料:CD版)の制作
- ・ リーフレット:市内全小中学校教職員に配付
  - ・ 各学校に補助資料(CD版)1枚添付



### ○研修会の充実

教員の指導力・意識向上につながる研修会の充実

- (1) モデル校や特色ある取組を実施している学校による実践発表会の開催
- ・ 成果の普及を図ることを目的とした実践発表会の実施
- (2) 学力向上推進フォーラムの開催
- ・ 講演、パネルディスカッション等を通して本市の学校教育の質の向上を図る。
- (3) 指導教諭や学力向上推進員を対象とした資質向上研修会の実施
- ・ 学力向上推進担当や県の教科指導主事による研修会
  - ・ 各校の取組や成果、具体的な教材等の情報交換
- (4) ICTを活用した指導力養成研修会
- ・ 電子黒板等を活用した指導力向上
- (5) 情報ネットワークを活用した、研修会で集約した教材等の共有
- ・ 各校の取組や研修会等の情報交換で集約した教材・教具の共有活用  
(CD-ROMによる市内各校への配付)

## 3 取組の効果等

《学力調査(平成29年度調査結果)》

【小学校概況】

正答率を全国平均及び県平均と比較すると、次のとおりであった。

|      | 国 語 |   | 算 数 |   |
|------|-----|---|-----|---|
|      | A   | B | A   | B |
| 全国平均 | ○   | ▼ | ○   | ○ |
| 県平均  | /   | ○ | ○   | ○ |

(○高い ▼低い /等しい)

全国との比較では、国語Bは下回っているが、それ以外は上回っている。  
 県との比較では、国語Aは等しいが、それ以外は上回っている。

【中学校概況】

正答率を全国平均及び県平均と比較すると、以下のとおりであった。

|      | 国 語 |   | 数 学 |   |
|------|-----|---|-----|---|
|      | A   | B | A   | B |
| 全国平均 | ○   | ▼ | ○   | ○ |
| 県平均  | ○   | ○ | ○   | ▼ |

(○高い ▼低い /等しい)

全国との比較では、国語Bは下回っているが、それ以外は上回っている。  
 県との比較では、数学Bは下回っているが、それ以外は上回っている。

《モデル校へのアンケート調査（平成29年度調査結果）》

○ 3年目モデル校（H小・I小・G中）の児童生徒の意識比較（H29年度）

《アンケート調査結果 H29.5月とH30.1月の比較》

| ※ H29学力調査全国値                     | H小学校（5年）       |                              | I小学校（5年）       |                   | G中学校（2年）       |                  |
|----------------------------------|----------------|------------------------------|----------------|-------------------|----------------|------------------|
|                                  | 5月<br>(456年)   | 1月<br>(456年)                 | 5月<br>(456年)   | 1月<br>(456年)      | 5月<br>(12年)    | 1月<br>(12年)      |
| 国語の勉強が好き<br>※ 小：60.5 中：60.5      | 62.1<br>(66.3) | 75.9<br>※ 22.2 ↑<br>(72.4 △) | 73.7<br>(64.5) | 65.7<br>(77.3 △)  | 52.8<br>(61.9) | 57.6<br>(63.4 △) |
| 国語の授業よく分かる<br>※ 小：82.2 中：74.9    | 88.4<br>(89.2) | 89.4<br>(89.8 △)             | 97.3<br>(91.8) | 100.0<br>(97.4 △) | 74.5<br>(82.0) | 74.9<br>(82.6 △) |
| 算数・数学の勉強が好き<br>※ 小：65.9 中：55.4   | 66.9<br>(70.9) | 76.0<br>※ 15.2 ↑<br>(72.4 △) | 78.9<br>(70.3) | 71.5<br>(79.8 △)  | 67.1<br>(72.9) | 63.6<br>(63.5 △) |
| 算数・数学の授業よく分かる<br>※ 小：80.6 中：69.4 | 79.6<br>(87.0) | 85.6<br>(85.1 △)             | 94.8<br>(85.9) | 91.4<br>(91.6 △)  | 82.6<br>(85.2) | 76.9<br>(76.2 △) |

(◎は達成 △は増加 ▼は減少)

《モデル校教員の感想・意見》

- ・ 個業だけでは、子ども、学校は変わらない。チーム力が必要であること、協働、連携が必要であることを実感した。
- ・ 研修に対する姿勢が主体的になってきた。
- ・ 子ども、保護者の学力向上への取組への意識が高まった。
- ・ 子どもの生活習慣や学習規律が定着した。

## 事例 20

### 各学校において、2学期からの児童生徒への 指導の充実や授業改善に生かすための取組事例 ～学力向上に対する市の方向性を明らかにする～

松山市教育委員会



平成 30 年度学力向上推進主任連絡協議会

【実施期間（時期）】平成 30 年 8 月 8 日【予算額】—

#### 1 実施概要

##### ○目的

全国学力・学習状況調査の結果の早期公表に合わせて学力向上推進主任連絡協議会を開催することで、学力向上に対する松山市の方向性を明らかにするとともに、2学期からの自校の指導の充実や改善に生かす。

##### ○現状

松山市では、平成 26 年度から市内全ての小学校 54 校と中学校 29 校を、中学校区をベースにした 8 つのグループに編成し、学力向上に係る小小連携や小中連携を推進してきた。そこでは、小中ではつながりのある「家庭学習の手引き」を作成したり、小学校と中学校の教員が互いの授業を参観したりすることで、互いの良さや違いを共有することができた。その結果、学習のルールや授業へ取り組む姿勢、児童・生徒理解や指導方法に関する理解が深まり、松山市全体の教員の資質向上や児童生徒の学力向上につながるなどの成果が上がっている。一方で、学校数が多いためにグループ間交流がやや形式化しているという課題もある。

##### ○期待する効果

- ・ 学力向上推進主任のリーダーシップのもと、自校の分析結果をもとに 2 学期からの教材研究や授業実践に生かす。
- ・ 情報交換や連携をより充実させ、9 年間をとおして指導方針を共有したり、小・中学校間で指導の系統性をもたせたりする。
- ・ 児童生徒の確かな学力の定着のために、小・中ではつながりのある「学習・話合いの手引き」「家庭学習の手引き」等を作成し活用することで、発達の段階に応じて児童生徒に自ら学ぶ姿勢を身に付けさせたり、家庭との連携・協力を図ったりする。

## 2 取組のポイント

### ○松山市教育委員会 学力向上推進3か年計画について



愛媛県では、平成24年度から28年度まで、愛媛県学力向上5か年計画のもと、確かな学力の定着・向上に向けて取り組んできた。その成果や課題をもとに、平成29年度から平成31年度までの3か年を第2期として、「学びに向かう力、人間性等」を養い、基礎と応用のバランスの取れた学力を育成することを目指している。

「松山市教育委員会 学力向上推進3か年計画」では、めざす松山市の子ども像を「基礎的・基本的な学力の定着した子ども」「豊かでたくましい心と、自ら考え課題を解決する意欲と能力をもった子ども」としている。主な取組としては、「組織力の強化」として、市内全ての小・中

学校のグループ化及び、グループ内での学力向上に係る学校間連携の推進がある。本市では、松山市幼保小中連携推進事業により、学校間の接続期に見られる問題、いわゆる小1プロブレム、中1ギャップなどの解消や、学力向上につながる学校間の連続的な学びを保証することを目的に、研究推進校、研究指定校を設け、学校間の連携の在り方を研究してきた。各グループの実践については、「ecまつやま」(コンテンツを共有できるシステム)に掲載して、よい取組を紹介するようにしている。また、グループ間で、小・中学校の教員が授業を参観し合うことなどにより、互いの指導の良さや違いを共有し、授業改善に取り組んできた。これらの「組織力」を生かした学力向上への取組を行ってきた結果、教員の子ども一人ひとりへの理解や学習の基本となるルールづくり、指導方法についても理解が深まり、そのことが教員の資質向上や、児童生徒の学力向上につながっていると考えている。

### ○平成29年度全国学力・学習状況調査の分析と活用について

本市では、これまでも全国学力・学習状況調査の結果を児童生徒への教育指導の改善・充実に生かすために、松山市教育委員会が独自に結果を分析し、具体的にどのような改善をするべきかを学校に示してきた。平成29年度はその分析に加えて、松山市教育研修センターと愛媛大学が連携して平成29年度全国学力・学習状況調査の調査結果を多角的な視点で分析を行った。その結果、本市の学校の学力状況は、「学校規模や通塾率、就学援助率等に左右されていない。」「子どもの自己肯定感や学校生活の充実感と学力との間には相

関が見られる。」「学力が高い学校の授業では、学習課題設定と話し合い活動、振り返り活動ができています。」ということが分かった。

松山市教育研修センターは、各小・中学校に向けて「松山の授業モデル」を提案している。4つの重点項目である「学習課題の提示」「学習の基盤となる指導の充実」「交流し考える学習の日常化」「学習の振り返り」を全ての教科の授業で実施し、教員の指導力向上を図ることで、児童生徒の学力向上につなげていきたいと考えている。

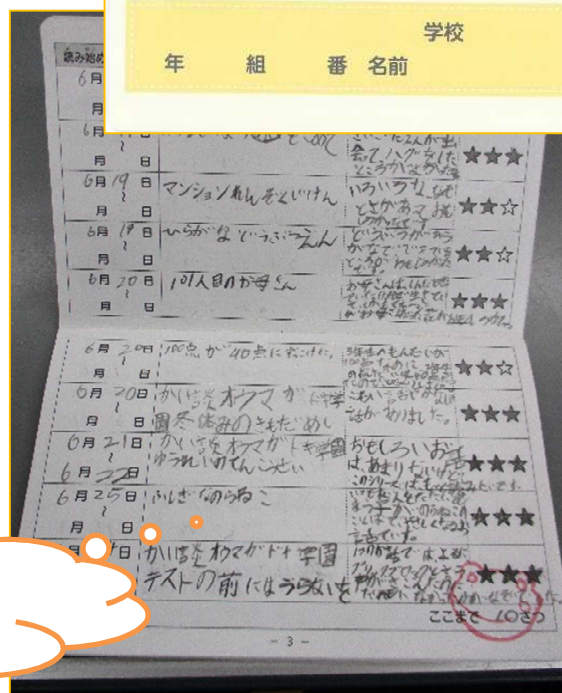
### ○平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について

全国学力・学習状況調査の本市の現状について、生活習慣や学習環境等に関する調査では、基本的な生活習慣の定着に一部課題はあったが、家庭での学習時間の確保や、地域行事への積極的な参加などについては、望ましい結果も出ている。また教科に関する調査では、小・中学校共に、全ての教科で全国の平均正答率を上回っている。

### ○「みきゃん通帳」の活用について

愛媛県教育委員会では、県内の子どもたちの読書活動を推進するため、平成29年度に愛媛県版の子ども読書通帳、通称「みきゃん通帳」を作成し、県内の全小学校4～6年生に配付した。子どもたちの読書意欲を高めるとともに、読書の幅を広げることを目的としており、活用方法については各校の裁量に任されているところも大きい。本会の中でグループ協議題の一つにし、近隣の学校と情報交換をしたことで、より効果的な活用方法を検討することができた。また、グループには近隣の中学校の教員もおり、今後「みきゃん通帳」をきっかけに読書に親しんできた子どもたちが、中学生になっても読書意欲がより高まるように情報交換をしたり、各中学校独自の取組をしたりすることが大事であると捉えている。

1冊の通帳に100冊の本の記録ができ、次の学年でも継続して使用できる。



### ○各校独自資料の活用について

学力向上に係る学校間連携では、小・中学校でつながりのある「学習・話し合いの手引き」「家庭学習の手引き」等、各校独自資料の活用について研究を進めている。家庭学習の課題の与え方について、教育効果の高い学校の取組として「家庭学習の課題の与え方につい

て、教職員で共通理解を図る」「家庭での学習方法等について具体例を挙げながら教える」が挙げられる。平成30年度の「全国学力・学習状況調査」の児童・生徒質問紙から、本市の小・中学生ともに「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」「家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している」と回答した割合が高い。各校で工夫して作成している「家庭学習の手引き」等を活用して、発達の段階に応じて自ら学ぶ姿勢が身に付いてきており、家庭との連携・協力も図られてきていると捉えている。今後も児童生徒の確かな学力の定着のために、よりよいものを作成したり、今あるものを改善したりするべきであると考えている。

### 学習の話し合いの仕方

**1 話すとき・聞くとき**

**聞くとき**

- ㉑ きらきらした目 …………… 話している人を見て
- ㉒ 聞きちらさず聞く耳 …… 自分の考えとくらべながら
- ㉓ 気持ちをこめて聞く心 …… 終わりまで熱心に

**話すとき**

- ㉔ 話はゆっくり …………… 聞きとりやすい速さで
- ㉕ はっきりと …………… 順序立てて分かりやすく
- ㉖ はずかしがらずに …… 聞き手の反応を確かめながら

**2 全体での発表の仕方**

**発表するとき**

私は、～と思います。理由は、～だからです。

私の考えは、○つあります。1つ目は～です。2つ目は～です。

まだ考えがまとまっていませんが、～ではないかと思っています。

### グループでの発表の仕方

**(1) 役割分担**

司会 …… 話し合いを進める。  
 記録 …… 簡単なメモをとる。  
 発表 …… クラスのみんなに発表する。  
 ※ いつも同じ人が同じ役割をしないように、交代しよう。

**(2) 話し合いの進行**

**話題の確認**

きから、～について話し合いを始めます。

**進行の仕方**

① 順番に考えを発表させる。

考えを○○さんから順に発表してください。

② 質問を求める。

今の意見に質問や、つたしはありませんか？

③ 賛成・反対意見を発表させる。

○○さんの考えについて、みなさんはどう思いますか？

今の意見に賛成の人・反対の人は意見を教えてください。

市内小学校の手引きの例。毎年改良を重ね、子どもの発達段階や実態に応じたものになっている。教員同士の共通理解だけでなく、学期末には家庭に持ち帰らせるなど、家庭との連携にも役立っている。

### 3 取組の効果等

学力向上推進主任連絡協議会では、2学期からの指導に生かすために各校の取組を紹介しながら、小・中で連携した学力向上の対応策について協議した。グループ協議の後の発表の場では、「2学期からの授業改善に役立つような情報交換ができた。」「近隣の小・中学校で情報交換や連携をより意識していきたい。」などの意見が出された。各学校では現在、それらの話し合いを受けて自校の結果を分析し、授業改善や生活改善の方向性について検討しており、今後は、ホームページや学校便りをとおして広く保護者に知らせるなど、家庭の協力も得ながら更なる学力向上につなげていく。



## 事例21

### S-P表を用いた分析による授業改善と学力の引き上げ ～家庭・地域を巻き込んだ学力向上の取組～

十和田市立東小学校

～全校体制による基礎的・基本的内容の定着と思考力・表現力の向上をめざして～

十和田市立洞内小学校



質問紙の結果分析及びS-P表分析を用いた学習習慣及び授業改善の取組

【実施期間（時期）】平成27年度～【予算額】－

## 1 実施概要

### ○目的

S-P表から読み取れる正答率を分析するだけでなく、児童質問紙の結果を分析することで、学びの原動力となる部分の改善を図り、学力向上につなげる。

### ○現状

長期的な傾向を見れば正答率は上昇、低下を繰り返しているが、平成27年度からの2年間で全国学力・学習状況調査において、正答率が低下傾向にあり、十和田市のみならず、青森県の平均をも下回る結果にもなった。

〈過去10年間の全国学力・学習状況調査 正答率の推移〉

|     | H19年 | H20年 | H21年 | H22年 | H24年 | H25年 | H26年 | H27年 | H28年 | H29年 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 国語A | 101  | 102  | 100  | 105  | 112  | 114  | 102  | 114  | 106  | 106  |
| 国語B | 110  | 115  | 98   | 108  | 124  | 117  | 106  | 112  | 94   | 97   |
| 算数A | 103  | 98   | 103  | 104  | 109  | 106  | 102  | 109  | 96   | 104  |
| 算数B | 104  | 99   | 98   | 103  | 117  | 113  | 105  | 126  | 93   | 109  |

そこで、S-P表のみならず、児童質問紙も分析したところ、児童にとって改善が急務な項目は学習に対する「関心・意欲」と学習の「有用感」であることがわかり、平成29年度からは児童がこの2項目を感じられる授業改善を行っている。

### ○取組

- ・ 教務主任が児童質問紙の結果を分析する。
- ・ 学習指導部でS-P表の分析を行う。
- ・ 校内研修で2つの結果をつきあわせ、因果関係や関連性をさぐる。
- ・ 研修主任が中心に家庭や地域の教育機関と連携し学習習慣と授業改善の方法を作成する。

- ・ 校内研修で全教職員に提案し、共通理解のもと実践にあたる。
- ・ 定期的に振り返りをもち、計画や方法の改善を図る。

### ○期待する効果

平成30年度全国学力・学習状況調査で児童質問紙の算数の学習への「関心意欲」「有用感」の項目の多くが改善されている。その結果、各教科の正答率も改善される。

## 2 取組のポイント

### ○重点を置いた取り組み

〈長期的な視点での学習習慣の育成〉

幼保小中の接続を考え、各発達段階で育てたい力を明確にした。特に家庭学習での学習習慣定着に向けては、地域の中学校と連携し、「9年間を見通した家庭学習の指針」を作成し各家庭に配布することで活用を促した。さらに各学年から示された具体的な家庭学習の内容と事例を冊子にし、「家庭学習の手引き」として児童一人一人に配布し家庭学習の促進に力を入れている。

〈聞く力を重視した教師の意識改革〉

各種学力調査の結果や中学校との情報交換から、「聞く力」の育成が急務と考え、授業の中で子どもたちが聞く力をつけられるような具体的な指示の仕方や指導法を例示し、全校で取り組んでいる。

## 3 取組の効果等

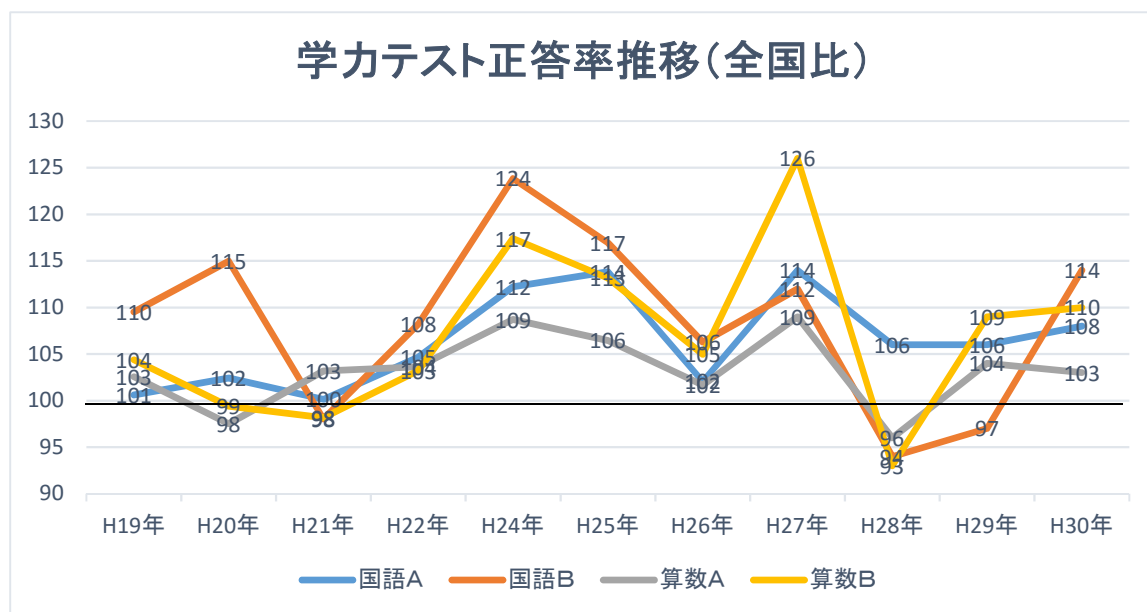
### ○平成30年度全国学力・学習状況調査の結果より

- ・ 算数の学習への「関心・意欲」「有用感」についての多くの項目が改善された。

〈質問紙からわかる変容〉

| 質問                  | H29 肯定(%) | 変容 | H30 肯定(%) |
|---------------------|-----------|----|-----------|
| 算数の勉強は好きですか。        | 64.1      | ↘  | 62.7      |
| 算数の勉強は大切だと思いますか。    | 94.3      | ↗  | 98.5      |
| 内容はよく分かりますか。        | 83.0      | ↗  | 86.5      |
| 新しい問題を解いてみたいですか。    | 83.0      | ↘  | 70.1      |
| あきらめず解決に向かいますか。     | 83.0      | ↗  | 94.1      |
| 生活の中で活用できるか考えますか。   | 79.2      | ↘  | 77.6      |
| 将来役に立つと思いますか。       | 96.2      | ↗  | 97.0      |
| 簡単な解決方法を考えますか。      | 86.7      | ↗  | 91.1      |
| 公式のわけを理解するようにしているか。 | 90.6      | ↗  | 92.6      |
| 解き方や考え方をノートに書いているか。 | 96.2      | ↘  | 92.6      |

- ・ 国語・算数の調査において、正答率が改善し、全国の正答率をいずれも上回ることができた。



### ○教職員の様子

- ・ どの教職員も児童の興味関心を喚起するような工夫を行い、持続性も考慮しながら日々教材研究を続けている。
- ・ 「聞く力」を意識することで、教職員の発問や指示の仕方が改善された。
- ・ 授業研究の中で、児童がどう感じるかを重要視するようになった。
- ・ 長期的な視点を持ち、家庭や地域と連携して学習習慣定着へ取り組む教職員が増えた。
- ・ キャリア教育にも積極的に取り組み、将来にわたって学習し続ける人間を育成しようとする視点が生まれた。



## S-P 表による誤答分析をすることによって下位児童の学力を引き上げる取組事例

【実施期間（時期）】平成27年度～【予算額】－

### 1 実施概要

#### ○目的

個人・学級の学力実態を的確に分析し把握することで、下位層の底上げを図り学力向上につなげる。

#### ○現状

平成27年度から平成29年度の3年間の全国学力・学習状況調査において、本校児童の正答数の全国比は、以下の通りである。平成27年度以外は全国比110前後の値であるが、個人差が大きく、下位児童については個別指導やプリントによる反復練習等の手立てを行い、底上げをしないと学校全体の学力向上につながらない。

- ・ 当該小学校児童の正答数の全国比

|        | 国語A | 国語B | 算数A | 算数B |
|--------|-----|-----|-----|-----|
| 平成27年度 | 94  | 92  | 93  | 91  |
| 平成28年度 | 110 | 133 | 121 | 136 |
| 平成29年度 | 116 | 112 | 105 | 113 |

#### ○取組

- ・ S 曲線より右側にある誤答を当該児童に対し「補充指導すべきと考えられる点」とし、その問題の概要を確認し、落ちている領域の補充学習を行う。
- ・ P 曲線が全国正答率の線よりも高い問題を、学校全体として「重点的に指導すべきと考えられる点」とし、学級全体で再度問題の意味や解き方について指導を行う。また、担任は普段の授業において「重点的に指導すべきと考えられる点」を意識しながら指導にあたる。学校全体でも冬季の校内研修で「重点的に指導すべきと考えられる問題」を実際に解き、なぜ児童が間違えたのか推察し合い、改善策を立てる。（平成30年度 全国学力・学習状況調査 解説資料を参照する）
- ・ 前年度の県学習状況調査の結果や全国・学力学習状況調査の結果をもとに、校内研修で学級全体の正答率が低い問題を実際に解き指導上の改善策を話し合い、下位層と思われる児童について補充指導を行った。
- ・ 今年度はS-P表をもとに、全校で重点的に指導すべき点を確認し、課題を解決するためどのようなことに配慮して指導を進めるべきか、各学年の系統も踏まえて話し合った。

## 2 取組のポイント

○全校体制で基礎的・基本的内容の定着をめざして

漢字・計算チャレンジ  
百ます計算チャレンジ  
全校視写  
読書チャレンジ

＜今年度の配慮事項＞

- 1 日常生活で適切に漢字を使う力を伸ばす
  - ・ 繰り返し書く漢字練習からの脱却
  - ・ 学年に応じた言語環境の整備
- 2 計算力のさらなるアップ
  - ・ 丁寧な取組から正確さアップへ
  - ・ フラッシュカード等の活用

○思考力・表現力の向上をめざして

「帰納的に考える力」「発展的に考える力」を伸ばす（算数科を中心に）

- ① 問題場面を図などに表し、自分の考えをもつ。
- ② 自分の考えを、式や表に表し伝える。
- ③ 学んだことから、更なる疑問をもつ。

表現するための情報をたくさん収集し、整理し、表現する力を伸ばす（国語科を中心に）

- ① 目的や意図、相手を考えた表現を身につける。
- ② 事実と感想、意見などを区別する力を身につける。
- ③ 自分の考えを示すために必要な資料や根拠が収集できる。

## 3 取組の効果等

○平成30年度学力・学習状況調査の結果より

当該小学校児童の正答数の全国比は、国語A（110）、国語B（121）、算数A（107）、算数B（109）である。

- ・ S-P表により、学級全体と下位層と思われる児童の問題点が明らかとなった。上記取組内容を実践し学力向上につなげていく。
- ・ 当該小学校は小規模校であり、児童一人あたりの平均正答率に与える影響が大きい。そのため、平均正答率よりも児童一人一人の変容を大切に指導を行っている。前年度の調査結果を踏まえ指導の改善や補充学習を行ってきたところ、下位層と思われる児童の正答率は上がりつつある。また、S-P表を活用する取組を実践し更に向上させたい。
- ・ 学校全体で取り組むべき課題について共通理解を図ることによって、日常の指導のあり方を見直し、指導力向上につながっていると考える。今後も冬季の校内研修で「重点的に指導すべきと考えられる問題」を実際に解くなどして、改善策を話し合う予定である。



## 事例 22

### 結果公表の早期化による教委・小・中連携の取組 ～学校の強みと弱みの早期把握を行い、教委・小・中合同 研修会から2学期以降の改善に取り組む～

石川県穴水町立穴水中学校



県指定：学びの組織的実践推進事業

【実施期間（時期）】平成27年度～平成29年度【予算額】20万円

#### 1 実施概要

##### ○目的

- ・ 3年生の課題となる点の把握とその改善に取り組み、1・2年生に対する指導法の改善に生かす。
- ・ 町教委・小・中合同研修会で改善の取組を協議し、共通理解を図る。
- ・ 全教員で授業改善に取り組み、生徒の学習規律の確立を図る。

##### ○現状

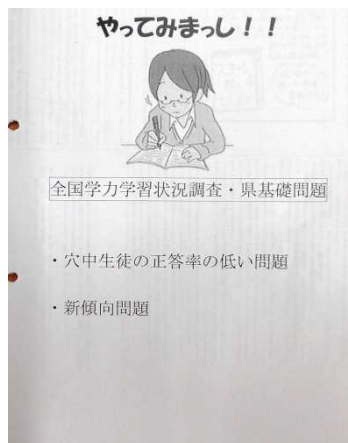
学校内では、基盤づくり、授業づくりに重点を置いて多くの工夫した取組を実践してきたが、大きな成果が得られずにいた。平成27年度の全国学力・学習状況調査において本校の結果は、国語A、国語Bは全国平均を大きく上回っていたが、数学A、数学Bは全国平均程度の結果であった。

##### ○取組

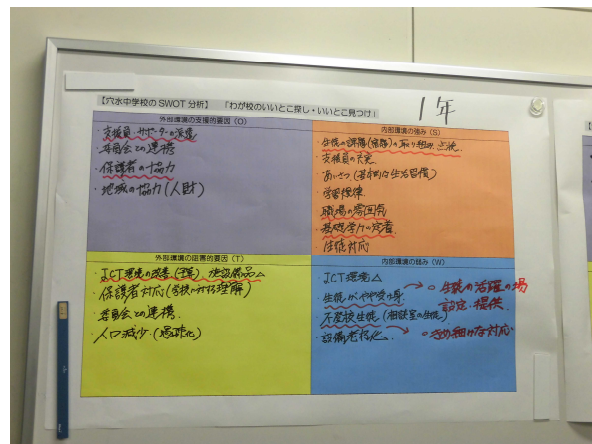
- ・ 校内の組織づくりの見直しと教委・小・中連携の取組を行い、9年間を見据えた指導を模索する。
- ・ 町教委、小中合同研修会を開催し、各分科会の後、全体会で取組を確認する。
- ・ 全国学力・学習状況調査から本校の強みと弱みを把握し、夏季休業中に校内研修で共通理解を図る。
- ・ 各教科の正答率の低い問題や新傾向問題を冊子にし、全教員で解き、共通理解を図る。
- ・ 質問紙の授業に関する項目、家庭学習に関する項目、規律に関する項目を分析し、現状の取組と目指す姿から改善点を見いだす。

## 2 取組のポイント

- 夏季休業中に教科部会で各教科の調査結果の詳細を分析し、分析チームで全体の傾向と質問紙調査の分析を行い、校内研修会において教員全員で共通理解を図る。本校での各教科の正答率の低い問題等を冊子（やってみまっし！！）にし、校内研修会で教員が実際に解き、生徒の身に付けるべき学力を把握する。また、2学期からの改善に向け、SWOT分析を実施し、本校の強みとなる取組の継続を確認し、弱みに対する対策を検討して具体的な取組を決定する。



<やってみまっし!!>

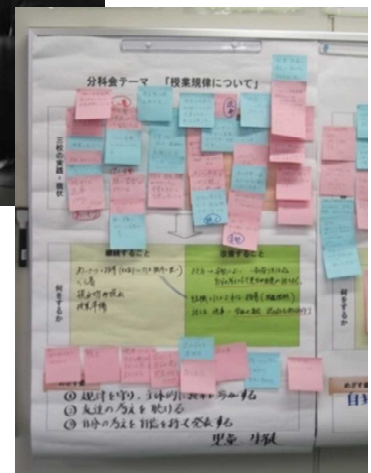


<SWOT分析のシート>

- 町で育てたい「めざす子ども像」に向けての取組について、町教委・小・中教員が分科会に分かれ検討する。分科会では、現状分析から改善策についてまで協議し、小中共通の取組、小中それぞれの取組を見いだす。全体会でそれぞれの分科会からの報告を受け、小中において効果のあった取組や継続する取組を全体会で確認する。



<町教委・小中合同研修会での分科会>



<分科会のシート>

### H28年度の分科会テーマ

- 家庭学習
- 授業規律
- 授業づくり
- ふるさと学習

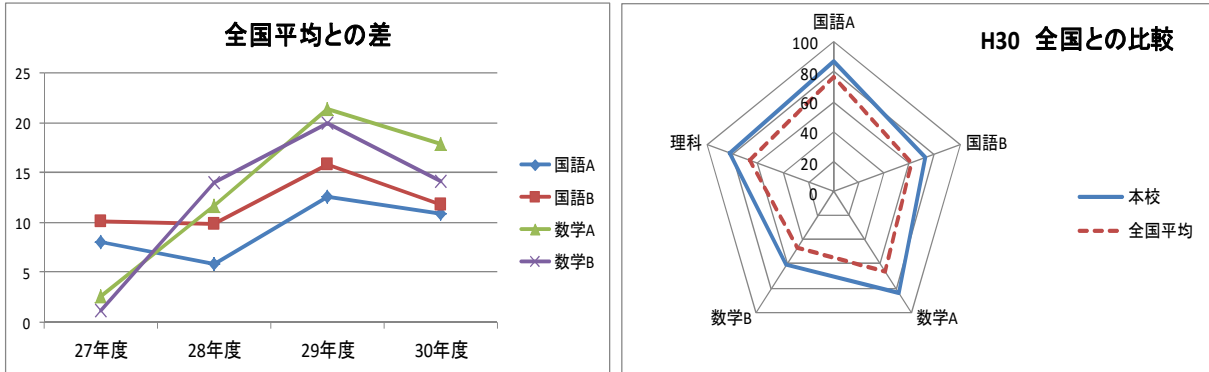
### H29年度の分科会テーマ

- 基盤づくり
- 授業づくり
- ふるさと学習
- 教委・小・中教委連携

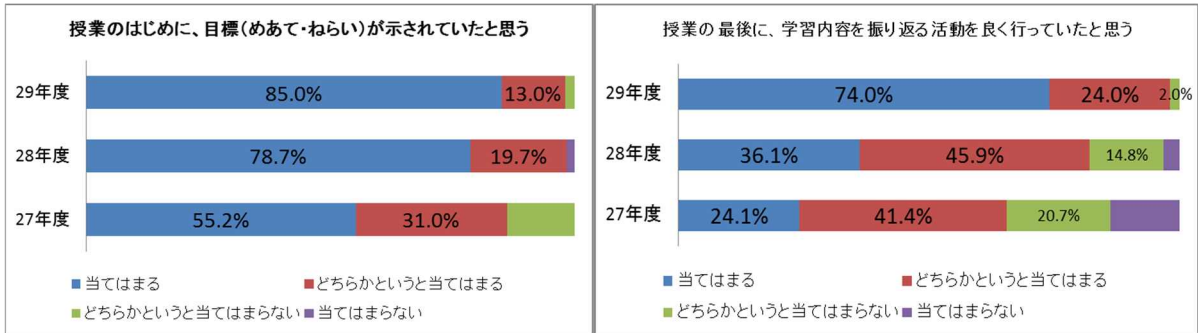
### 3 取組の効果等

#### ○平成29年度、30年度の全国学力・学習状況調査の結果より

- 平成29年度、30年度全国学力・学習状況調査においてすべての教科において全国平均を大きく上回ることができた。
- 平成30年度の結果（全国平均との比較）  
国語A(+10.9) 国語B(+11.8) 数学A(+17.9) 数学B(+14.1) 理科(+15.9)



#### ・平成30年度質問紙調査の結果からみえる本校生徒の変容



- 町教委・小・中合同研修会で決定された共通の取組が浸透し、授業づくりに関する項目でも改善が進んでいることが把握できる。

#### ○教職員の様子

- 1・2年生の指導法改善に向けて、教科部会で指導計画の見直しを行い、改善につなげている。
- 調査の結果として明らかになった学校の課題の改善を図るために、適用問題の正答率を意識して学習指導に取り組んでいる。

#### <H28年度 数学1年の計画>

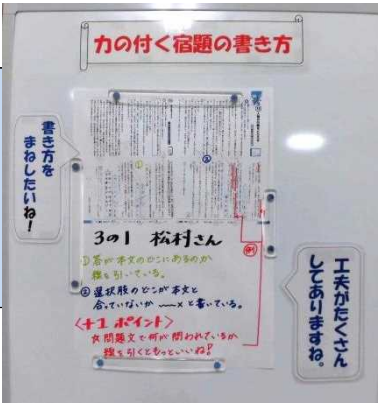
|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| 5 | ③ いろいろな方程式<br>かっこをふくむ場合や、係数が小数の場合の一元一次方程式の解き方を考える。 | かっこをふくむ場合や、係数が小数の場合の一元一次方程式を解く手順を理解している。【知識・理解】   | 国H27A3(2)                                  |
| 6 | 係数が分数の場合や、係数に文字をふくむ一元一次方程式の解き方を考える。                | 係数に文字をふくむ一元一次方程式について、その文字の値を求めることができる。【技能】  | 分母をはらう1次方程式<br>国H26A3(2)                   |
| 7 | 基本の問題<br>基本の問題に取り組む。                               | 学習内容を適用して、問題を解決することができる。【技能】  |  |
| 8 | ② 1次方程式の利用・交代の時間は<br>何分?<br>① 1次方程式の利用             | 具体的な問題を方程式を利用して解決する。<br>一元一次方程式を活用することに関心をもち、具体的な問題の解決に生かそうとしている。【関心・意欲・態度】<br>方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解している。【知識・理解】 | 国H28B1<br>(1)93.4%<br>(2)31.1%<br>(3)57.4% |



- 合同研修会で取り決めた取組を共通して実践している。

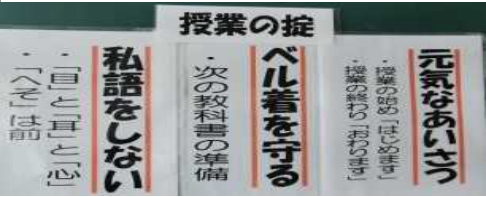
**H28年度の実践例**

**家庭学習分科会**  
 ⇒ 良い自学ノートの例の掲示  
 ⇒ コメントを記入するなどの工夫  
 ⇒ 担任以外の点検の協力体制



＜宿題の良い取組の掲示＞

**授業規律分科会**  
 ⇒ 授業はじめのあいさつの統一  
 ⇒ 返事をして大きな声で発表する  
 ⇒ 授業ルール（授業の掟）の可視化



＜授業の掟の掲示＞

**授業づくり分科会**  
 ⇒ 教科の用語を使って表現する場の設定  
 ⇒ 話型を利用して話し合い場の設定をする  
 ⇒ 教師のファシリテート力の育成  
 ⇒ 良いノート例の掲示  
 ⇒ 小中の良いノートの交流  
 ⇒ 太田あや氏による「ノート講演会」



＜ホワイトボードミーティング講習会＞



＜太田あや氏による「ノート講演会」＞

**ふるさと学習分科会**  
 ⇒ 穴水町の特徴を生かした企画  
 ⇒ 小中の発達段階に応じた編成を工夫



＜1年生（のとてまり）＞

ふるさと学習実施計画（3年生）

### 穴水町からの成人式ギフト

＜ワインづくりに関して＞  
 日時 9月7日（月）6課（総合）  
 場所 穴水町 1F ランチスペース  
 講師 米田 田加利さん

＜ワインの制作＞  
 品種 ヤマソーヴィニオン（赤）  
 ○1人1本 ミニボトル＋ラベルを作成  
 ○学級ボトルを 数本作成

○ふどうの収穫  
 日時 9月下旬（専門技術により収穫に最適な時期が指示される）  
 場所 産直ワイン醸造の専用のブドウ畑  
 ＊工場への見学あり  
 ＊生徒輸送は町教委手配のバス

＜3年生（ワイン）＞



全国的な学力調査に関する専門家会議委員（平成31年3月現在）

（50音順 敬称略）

|        |  |
|--------|--|
| 浦井 寿尚  | 福井県教育庁義務教育課長（平成30年5月2日～）                       |
| 大津 起夫  | 独立行政法人大学入試センター試験・研究統括官                         |
| 片平 克弘  | 筑波大学大学院人間総合科学研究科副研究科長・博士後期<br>課程学校教育学専攻長・人間系教授 |
| 鎌田 首治朗 | 桃山学院教育大学教授                                     |
| 齋藤 芳尚  | 公益社団法人日本PTA全国協議会副会長                            |
| 柴山 直   | 東北大学大学院教育学研究科教授                                |
| 清水 静海  | 帝京大学教育学部・教職大学院教授                               |
| 清水 美憲  | 筑波大学大学院教育研究科長                                  |
| 鈴木 みゆき | 国立青少年教育振興機構理事長                                 |
| 高木 まさき | 横浜国立大学教授・副学長                                   |
| 田代 和正  | 調布市立第六中学校長                                     |
| 田中 博之  | 早稲田大学教職大学院教授                                   |
| 垂見 裕子  | 武蔵大学社会学部教授                                     |
| 土屋 隆裕  | 横浜市立大学データサイエンス学部教授                             |
| 戸ヶ崎 勤  | 戸田市教育委員会教育長                                    |
| 長塚 篤夫  | 順天中学校高等学校長                                     |
| 針谷 玲子  | 台東区立蔵前小学校長                                     |
| 福田 幸男  | 横浜薬科大学教授                                       |
| 淵本 幸嗣  | 福井県教育庁義務教育課企画幹                                 |

（平成29年6月～平成30年3月）

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 耳塚 寛明 | お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系教授  |
| 吉村 宰  | 長崎大学大学教育イノベーションセンター教授 |
| 渡部 良典 | 上智大学言語科学研究科教授         |

また、本事例集は、事務局として文部科学省総合教育政策局調査企画課学力調査室が作成に携わった。

## あとがき

全国学力・学習状況調査は、調査の実施・分析・活用により、教育施策の改善・充実を図ることで、教育の継続的な検証改善サイクルを確立することを目的として実施しています。本調査は、平成19年度の開始以来、その結果が教育委員会で分析され、様々な施策の改善・充実に活用されてきました。

また、近年、学校質問紙調査における「全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか」という問いに対して、「よく行った」「行った」と肯定的に回答した学校は、9割を超えていることから、各学校においても学力調査の結果の分析・活用が進んできていることが伺えます。

文部科学省としても、単純な教科毎の正答率の比較等ではなく、教科や質問紙の調査結果からねらいに沿った資質・能力が発揮されているのかどうかを読み解き、それぞれの取組の質的な改善に活かしていただくことを目指し、各教科の解説資料の即時公開や分析支援ツールの提供、結果提供の早期化や提供資料の充実等の取組を進め、分析・活用の充実を図ってきました。

こうした全国学力・学習状況調査を活用した具体的な取組は、全国の教育委員会及び学校に蓄積されてきています。このため、今回、各教育委員会・学校に御協力いただき、好事例となる取組をまとめた事例集を作成しました。指導のポイントを解説した資料の作成、S-P表を活用した研修会の実施、教育広報誌等による保護者や地域への啓発、学力向上のための推進委員会の活性化などの多様な取組を掲載しております。

第3期教育振興基本計画（平成30年6月閣議決定）においても、客観的な根拠を重視した教育政策の推進が重視されており、全国学力・学習状況調査をより一層活用していくことが期待されています。

各教育委員会や学校におかれては、本冊子も参考に、全国学力・学習状況調査を活用し、引き続き継続的な検証改善サイクルの確立、改善・充実に努めていただければ幸いです。最後になりましたが、活用事例を御提供いただいた各教育委員会や学校に感謝申し上げます。

平成31年3月  
文部科学省 総合教育政策局  
調査企画課 学力調査室

- 対象：全国の小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒
- 教科：国語(毎年)、算数・数学(毎年)、理科(3年に1度)、英語(3年に1度、中学校のみ)

## 各年度の特徴

### ◆平成19年度～平成21年度

- ・悉皆調査

### ◆平成22年度

- ・抽出調査(抽出対象外でも設置管理者の希望で調査利用可能な「希望利用方式」で実施)

### ◆平成23年度

- ・調査実施見送り(東日本大震災の影響等を考慮)

### ◆平成24年度

- ・抽出調査(希望利用方式)
- ・国語、算数・数学に加え、初めて理科を実施

### ◆平成25年度

- ・悉皆調査(「きめ細かい調査」) ※以降、悉皆調査継続
- ・追加調査として、以下の3つを実施
  - ①経年変化分析調査(抽出)
  - ②保護者に対する調査(抽出)
  - ③教育委員会に対する調査(悉皆)

### ◆平成26年度

### ◆平成27年度

- ・国語、算数・数学に加え、理科を実施

### ◆平成28年度

- ・熊本地震の影響により、熊本県並びに宮崎県及び大分県の一部の学校で当日実施見送り
- ・追加調査として、経年変化分析調査(抽出)を実施

### ◆平成29年度

- ・追加調査として、保護者に対する調査(抽出)を実施

### ◆平成30年度

- ・国語、算数・数学に加え、理科を実施
- ・中学校における英語の予備調査(抽出)を実施

### ◆平成31年度

- ・国語、算数・数学に加え、初めて中学校英語を実施

### ◆2020年度

- ・追加調査として、経年変化分析調査(抽出)、保護者に対する調査(抽出)を実施予定



# 学校／学級別解答状況整理表(S-P表)の見方について

左から右へ、全国正答率の高い順に問題番号を記載

| 問題番号      | 2 (1)                                     | 3 (2)                                  | 2 (3)                                  | 3 (1)                                  | 1 (1)                                  | 4 (1)                                  | 1 (2)                                  | 4 (3)                                  | 4 (2)                                  | 2 (2)                                  | 1 (3)                                  | 5 (1)                                  | 3 (3)                                  | 5 (2)                                  |  |      |
|-----------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|------|
| 問題の概要     | A   | C                                      | A                                      | C                                      | D                                      | B                                      | D                                      | B                                      | B                                      | A                                      | D                                      | D                                      | C                                      | A                                      |  |      |
| 問題の概要     | はじめの数が100のとき、計算結果を求め、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 | 2つの数、1と2の和、積、差、商を求め、その結果が何の倍数になるかを求める。 | 列の順に、1から10までの数を並べ、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 | 列の順に、1から10までの数を並べ、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 | 列の順に、1から10までの数を並べ、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 | 列の順に、1から10までの数を並べ、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 | 列の順に、1から10までの数を並べ、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 | 列の順に、1から10までの数を並べ、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 | 列の順に、1から10までの数を並べ、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 | 列の順に、1から10までの数を並べ、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 | 列の順に、1から10までの数を並べ、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 | 列の順に、1から10までの数を並べ、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 | 列の順に、1から10までの数を並べ、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 | 列の順に、1から10までの数を並べ、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 | 列の順に、1から10までの数を並べ、その計算結果が何の倍数になるかを求める。 |      |
| 全国(公立)正答率 | 89.0                                      | 76.7                                   | 67.3                                   | 66.2                                   | 54.3                                   | 54.0                                   | 41.8                                   | 41.0                                   | 40.5                                   | 35.6                                   | 34.8                                   | 14.7                                   | 12.0                                   | 9.2                                    |  |      |
| 正答人数の割合   | 80.0                                      | 68.0                                   | 56.0                                   | 52.0                                   | 64.0                                   | 56.0                                   | 20.0                                   | 32.0                                   | 38.0                                   | 38.0                                   | 38.0                                   | 23.0                                   | 17.0                                   | 4.0                                    |  |      |
| 正答人数      | 20  | 17                                     | 14                                     | 13                                     | 18                                     | 14                                     | 5                                      | 14                                     | 8                                      | 9                                      | 9                                      | 7                                      | 3                                      | 1                                      |  |      |
| 学年        | 組   | 答案番号                                   | 氏名記入欄                                  | 付記欄                                    | 解答類型(“0”は無解答を表す。)                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 正答数                                    | 正答率  |
| 3         | 1   | 0663202                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 3                                      | 13                                     | 92.9 |
| 3         | 1   | 0663210                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 6                                      | 13                                     | 92.9 |
| 3         | 1   | 0663218                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 8                                      | 11                                     | 78.6 |
| 3         | 1   | 0663205                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 3                                      | 10                                     | 71.4 |
| 3         | 1   | 0663208                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 7                                      | 10                                     | 71.4 |
| 3         | 1   | 0663203                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 8                                      | 10                                     | 71.4 |
| 3         | 1   | 0663188                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 7                                      | 8                                      | 64.3 |
| 3         | 1   | 0663204                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 4                                      | 4                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 12                                     | 7                                      | 84.3 |
| 3         | 1   | 0663206                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 4                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 8                                      | 8                                      | 64.3 |
| 3         | 1   | 0663213                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 4                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 6                                      | 7                                      | 50.0 |
| 3         | 1   | 0663227                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 4                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 9                                      | 10                                     | 50.0 |
| 3         | 1   | 0663203                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 8                                      | 7                                      | 42.8 |
| 3         | 1   | 0663226                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 8                                      | 8                                      | 42.8 |
| 3         | 1   | 0663201                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 2                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 5                                      | 5                                      | 35.7 |
| 3         | 1   | 0663217                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 4                                      | 2                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 4                                      | 4                                      | 28.0 |
| 3         | 1   | 0663220                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 4                                      | 4                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 8                                      | 8                                      | 28.6 |
| 3         | 1   | 0663224                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 4                                      | 4                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 2                                      | 3                                      | 21.4 |
| 3         | 1   | 0663200                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 2                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 8                                      | 8                                      | 21.4 |
| 3         | 1   | 0663189                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 0                                      | 2                                      | 4                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 0                                      | 3                                      | 21.4 |
| 3         | 1   | 0663211                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 5                                      | 4                                      | 4                                      | 0                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 2                                      | 2                                      | 14.3 |
| 3         | 1   | 0663214                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 2                                      | 2                                      | 2                                      | 2                                      | 2                                      | 2                                      | 2                                      | 2                                      | 14.3 |
| 3         | 1   | 0663216                                |  |  | 1                                      | 1                                      | 4                                      | 4                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 1                                      | 2                                      | 2                                      | 14.3 |
| 3         | 1   | 0663219                                |  |  | 0                                      | 0                                      | 0                                      | 4                                      | 1                                      | 0                                      | 5                                      | 0                                      | 0                                      | 1                                      | 1                                      | 7.1  |
| 3         | 1   | 0663225                                |  |  | 99                                     | 0                                      | 4                                      | 4                                      | 88                                     | 1                                      | 88                                     | 0                                      | 0                                      | 0                                      | 1                                      | 7.1  |
| 3         | 1   | 0663209                                |  |  | 88                                     | 2                                      | 4                                      | 2                                      | 0                                      | 0                                      | 0                                      | 0                                      | 0                                      | 0                                      | 0                                      | 0.0  |

上から下へ、正答数の多い順に児童生徒を記載

**P曲線:**  
問題ごとに、上から数えて当該学校／学級の正答人数の数にあたる所を結んだ線  
例) 該当設問の正答人数が「9名」なので、上から9人目のところに横線が引かれる

全国正答率第1位を四捨五入して表示  
※小数点第1位を四捨五入して表示

参考3

該当教科の全国正答率50%以上問題のうち、正答数が2分の1以下だった児童生徒の人数及びその割合(%)

|          |      |
|----------|------|
| 高正答率分析対象 |      |
| 人数       | 割合   |
| 23       | 18.1 |
| <        | 5.1  |
| >        | 5.7  |

<> 内は都道府県平均との差  
( ) 内は全国(公立)平均との差

**S曲線:**  
児童生徒ごとに、左から数えて当該児童生徒の正答数の数にあたる所を結んだ線  
例) 該当児童生徒の正答数が「4問」なので、左から4問目のところに縦線が引かれる

- ※数字は解答類型(“0”は無解答)
- ※色付きセルは誤答(無解答含む)
- ※線が重なった場合は、以下の順で優先して表示される  
縦線: 青線 > 赤線 > 赤点線  
横線: 赤線 > 赤点線 > 青線